



イギリスの病院や高齢者施設では、認知症の人が毛糸で編まれた筒状のニット製品を利用しているのをよく見かけます。「Twiddle(手でいじる)muff」と呼ばれ、ニットの内外にはボタンやリボンなど様々なアクセサリが付けられています。手を通した認知症の人がボタンやリボンを触ることで安心感が得られるそうです。

このマフの製作、普及を目的としたワークショップをオンラインで開催します。マフ作りを指導するのはNHK教育テレビ(Eテレ)にも出演されたニット作家の能勢マユミさんです。参加者には事前に毛糸や編み針などの製作キットをお送りして、当日は能勢さんの説明で実際にマフ作り挑戦していただきます。また、広島県府中町でマフ作りを続けてきた認知症サポートグループの活動について、同町社会福祉協議会の担当者から報告していただきます。

コロナ禍で自宅で過ごす時間が増えています。マフ作りを通じて認知症のことや当事者のこと、地域づくりについて考えていただけることを願っています。



2021 2/20 [土] 14:00~16:00

参加費 1,500円  
(材料費含む)

#### プログラム

- ① 認知症マフについて (14:00~14:10)  
朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長・山本雅彦
- ② 広島県府中町の事例紹介/製作から贈呈まで (14:10~14:30)  
府中町社会福祉協議会生活支援コーディネーター・榎山亮さん
- ③ ワークショップ (14:30~15:45)  
ニット作家・能勢マユミさん
- ④ 質疑応答 (15:45~16:00)

#### ご利用方法

- ワークショップはテレビ会議システムのZoomウェビナーを使います。参加される方はパソコンやスマホ、タブレットをご用意ください。
- お申し込み時にご登録頂いたメールアドレスに、後日ウェビナーの視聴URL等を別途お送りします。Zoomアプリが必要ですので、事前に取得をお願いいたします。ウェビナーへの参加方法は事前に資料をお送りします。またワークショップ当日にテスト時間を設けますのでお試しください。
- ウェビナーへの参加はユーザー名で行います。本名でもニックネームでもかまいません。画面には参加者のユーザー名だけが表示され映像は表示されません。

**申し込み** 朝日新聞厚生文化事業団のホームページからお申し込みください。右のQRコードからもアクセスできます。

**問い合わせ** 朝日新聞厚生文化事業団 電話 070-6547-2846

朝日新聞厚生文化事業団 **検索**



朝日新聞厚生文化事業団